税金のムダ使いは許さない！

子どもにツケをまわさない!

『なくそう！議員特権２０１０』
『変えなきゃ！議会２００７』
『子どもにツケをまわす議決に反対』
いなば卓夫は上記のキャンペーンの趣旨に賛同し参加しています。

変えなきゃ！議会
自治体議会改革フォーラム 2007

日光市を第二の夕張にするな！市政にコスト感覚を。

河村たかし名古屋市長は市長退職金4,220万円を全廃しました。市長報酬も年800万円に大幅に引き下げました。（人口226万人は日光市9万2千人の約25倍です）

「合併しないとやってけない！」と言って合併した新日光市なのに議員、市長などの報酬（市民のみなさまの税金）は高い方に引き上げ。４年間、なんの結論も出せない慣れ合い日光市議会。

- 議員・市長・副市長の報酬を大幅に削減します。副市長を一人にし、**議員、市長、副市長の報酬を旧日光市並みしていれば、４年間で約２億８,０００万円の節約ができ、福祉や教育の充実に使えたのです。**
- 選挙で選ばれていない**副市長の－期４年の報酬は４,６０２万円。退職金はなんと 1,003 万円、合わせて 5,605 万円。民間では考えられないことです。**いま問題の独立行政法人などで**退職金を何度も受け取る「渡り」と同じ**です。二人の副市長とも市職員の延長です。外部から優秀な人材の登用も可能です。
- **年収６００万円の公務員の時給は３,１００円です。日給約２５,０００円です。日光市長は年収１,４７４万円、時給約８,000 円、日給約６４,０００円（含む退職金。－日８時間労働として）です。退職金は－期４年で２,１１２万円です。**パートの方々は時給800円くらいで働いている人が大多数です。こんなに多額の報酬を平気で貰っている人に庶民の生活の苦しさが分かるはずもありません。庶民感覚とかけ離れた税金の使い方を徹底的に見直し、効率的な行政を推進します。行政も市民も意識の改革（コスト感覚）が必要です。自治体破綻は悲惨です。日光を第二の夕張にすることはできません。今回あえて報酬のことを申し上げましたのは市政を展開するバロメーターだからです。

いなば卓夫がいま、取り組んでいること

①レディオベリー営業課長の経験を生かし、災害時に役立つコミュニティ・ラジオ『FM 日光』をつくること。栗山・足尾・藤原・今市・日光地区の全域で情報の共有ができるのです。

災害時に災害情報を迅速に届け、私たちの大切な命を守ってくれます。新潟中越地震のときにも大活躍しました。ふだんは観光客への情報提供や身近な地域の生活情報（商工会や議会の情報等）を発信でき情報が共有できます。災害時に防災無線はあまり役に立ちませんし、今市・栗山地区に同報系防災無線を設置するには数十億円かかります。コミュニティ・ラジオの開設費用は約５千万円です。全国にはすでに２３６局ありますが、コミュニティ FM がないのは栃木県だけです。

②環境のことを真剣に考え、足尾町松木で植林事業に参加しています。この地球が酸性雨で悲鳴を上げています。微生物が住める土壌に改良することが急務です。やがて人間の住めない地球に・・・。

NPO 法人『森びとプロジェクト委員会』理事として、足尾町松木・八幡平の植林活動と炭を使う土壌改良を通して森や自然の大切さを広めています。地球を守ろうという意識の方々が参加している NPO 法人です。みなさまもご参加下さい。

③農薬使用量を減らし、子供たちにも安全な食卓を！

農薬使用量、世界一位はダントツ日本です。このままでは人体に影響が出るとともに安全な食を守ることができません。

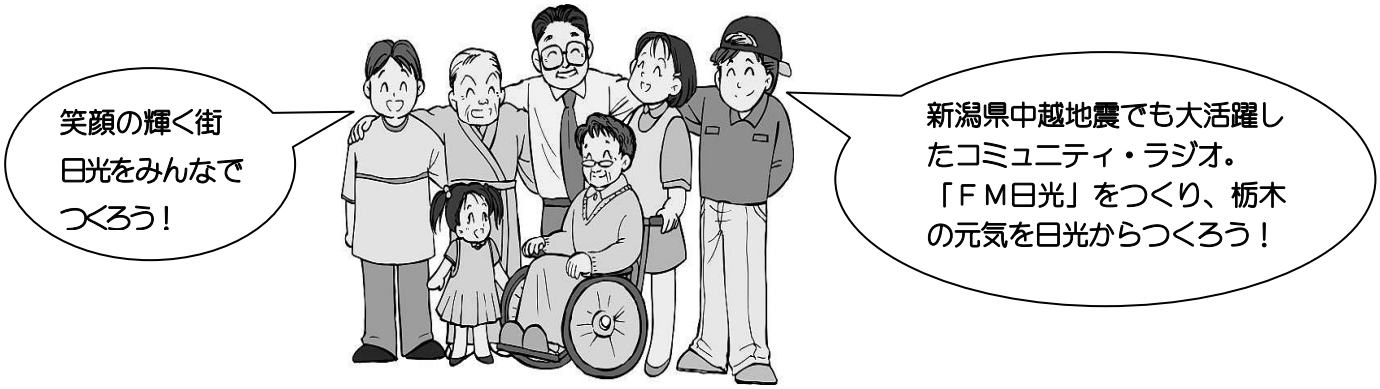
④環境にやさしい軽自動車の普及・推進と軽自動車税の値上げ反対。（ナンバープレートの色も検討）

軽自動車は環境や道路への負担（道路損傷度は普通自動車の１/３です。２トンクラスとでは約１/１６です）が少なく、大きな車に比べるとエコな乗り物です。しかし、いま中央の一部に普通車との税金格差（普通自動車 1000CC は 29,500 円、軽自動車乗用は 7,200 円）が大きいために値上げをすべきだという声があります。軽自動車はセカンドカーであることが多く、地方都市での庶民の足となっており、現行税制を守るために頑張ります。◆ナンバープレートの色は現在、黄色になっていますがファッション性を考慮し、色の変更や選択制を国会議員に提案しています。

⑤自殺者を減らす取り組み。残念なことに毎年３万人以上の方が自殺しています。この３２年間で 843,171 人の方が自殺しました。今の社会は夢や希望が持てないばかりか、地域に助けあいの精神が失われました。誰もが病気や生活苦で孤立することなく、手を差し伸べてくれる行政が求められているのです。

⑥生ごみを燃やさない取り組み。輸入した石油で生ゴミを燃やす馬鹿なことはやめて、バイオマスで活用します。

いなば卓夫（たくお）は「住みたい街、日本一の日光」をつくります。



福祉の街、環境の街、教育の街、芸術・文化の街日光を創り、市民の働く場の創出に努めます。新潟県中越地震でも大活躍したコミュニティ・ラジオ。「ＦＭ日光」をつくり、みんなで日光の夢と未来を語り、一体感のある温かみのある日光市を築きましょう！
防災無線は災害の時に役に立ちませんでした。市民の命を守るためにも必要です。

慣れ合い議会はやめよう！各地域の市民の意見が反映できる議会を！

平成15年、私が日光市議会に議席をいただき質問したひとつが、一般質問における一問一答方式でした。私の提案で採用されましたが、現在の日光市議会では行われていません。今は議会の前に議員が「質問通告」を行い、各課で答案をつくり、「この答えでいいでしょうか」と課長が議員のOKをもらう。まるで「茶番劇」のような儀式を行っています。こんな議会では市民の負託に応えられるわけもありません。どうして日光で採用していた一問一答方式ができなかったのでしょうか。日光地区から選出された議員はなぜ主張しなかったのでしょうか。楽だからです。こんな慣れ合い議会に市民の税金を使われたらたまりません。
平成21年の会期は93日間でしたが、休会日が約50日あり、実際に議会があるのは約40日でしょう。地方自治法の定めにより定例会は年4回と決められていますが、会期の定めはありません。1回90日にすれば通年開催できると私はかつて議会で提案・主張しました。地域間格差やハコモノ行政、日光市政は課題山積です。行政が複雑化した今、専業として議員活動するプロが必要です。市民に兼業議員を雇う余裕はありません。

「この４年間、市政の情報が全く届かなかった」という市民の声が上がっています。

いなば卓夫の市民参加の議会改革案

① 議員報酬の大幅削減と議員年金の廃止。
② 議会の通年開催と移動議会の開催。
③ 公聴会等市民が発言できる場を創設。
④ 市民がつける議員・市長の通信簿。
⑤ **地域の代表を出せる小選挙区制の復活。（公選法第 15 条６）議員削減は地域の代表を出せなくなるので検討が必要です。**

議員年金は破綻。即刻中止せよ！（市税の投入額）

年　度	議員数	月額負担金	年合計
18 年度	30	1,197,000	14,364,000
19 年度	30	1,767,000	21,204,000
20 年度	30	1,881,000	22,572,000
21 年度	30	1,881,000	22,572,000
4 年間合計			**80,712,000**

なんの改革もできていない日光市議会。『やめちまえ！』という声も聞こえてきます。

【いなば卓夫プロフィール】

●昭和25年5月5日生まれ。（59歳）●慶應義塾大学法学部政治学科を卒業。●衆議院議員渡辺美智雄の秘書を19年間務める。その間、厚生、農林水産、大蔵、通産、外務の各大臣副総理秘書として日本の政治に携わる。IMF総会、世界銀行総会等に随行。アメリカ政治研修（短期）経験あり。●FM栃木（レディオベリー）営業課長として開局に携わる。●参議院議員国井正幸氏の公設第一秘書。●日光市議会議員一期。教育民生常任委員長
●趣味は写真、アウトドア、野菜づくり、日曜大工。●本籍:日光市御幸町 578
●現在、NPO法人森びとプロジェクト委員会理事、熊森協会正会員、伝統を未来につなぐ会会員

■いなば卓夫を支援する会事務所:日光市日光 2445-12（萩垣面）
☎&fax 0288-50-1380　E-mail: inabatakuo@yahoo.co.jp
☎携帯 090-9203-1783